

令和2年度実績

(論文)

1. 高橋秀徳, 岩崎吉伸, 横沢隆行, 一ノ瀬直樹, 小田智三. 呼吸器症状を伴わず化膿性脊椎炎を疑われ紹介となった COVID-19 肺炎の 1 例. 感染症学雑誌. 2020 ; 94 : 608~612.
2. 高橋秀徳, 岩崎吉伸, 渡邊崇靖, 一ノ瀬直樹, 國東博之, 小田智三. ファビピラビルを投与後に軽快した ARDS 合併 SARS-CoV-2 肺炎の 1 例. 日本化学療法学会雑誌. 2020 ; 68(6) : 627-631.
3. Hidenori Takahashi, Yoshinobu Iwasaki, Takayasu Watanabe, Naoki Ichinose, Yasusei Okada, Akito Oiwa, Takehiro Kobayashi, Mariko Moriya, Toshimi Oda. Case studies of SARS-CoV-2 treated with favipiravir among patients in critical or severe condition. International Journal of Infectious Diseases.2020;100:283-285.

(執筆)

1. 一ノ瀬直樹: 緊急特集. 見えない危機にどう動く? 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応. Case2 公立昭和病院での COVID-19 対応. 月刊薬事. 2020 ; 62(12) : 2358-2360.

(招待講演)

1. 一ノ瀬直樹: 血中濃度測定によりダプトマイシンの投与が完遂できた 1 例. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020 年 (令和 2 年) 9 月 13 日, 神戸.
2. 一ノ瀬直樹, 宇佐見まみ, 高橋秀徳, 大場邦弘, 松元一明, 小田智三: COVID-19 中等症Ⅱの症例におけるファビピラビルの使用実態. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020 年 (令和 2 年) 9 月 14 日, 神戸.
3. 一ノ瀬直樹: 感染対策が適切に実施されてはじめて抗菌薬適正使用支援のアウトカム評価ができる～水回りを介した緑膿菌の伝播事例を経験して～. 第 2 回 Hospital Water Hygiene 研究会学術集会, 2020 年 (令和 2 年) 11 月 28 日, 東京.

(学会発表)

1. 一ノ瀬直樹, 高野哲史, 大場邦弘, 松元一明, 小田智三: セフェピムの緑膿菌に対する薬剤感受性率と使用量に関する検討. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020 年 (令和 2 年) 9 月 13 日, 神戸.
2. 一ノ瀬直樹, 高野哲史, 大場邦弘, 松元一明, 小田智三: カルバペネム系抗菌薬適正使用におけ

る抗菌薬適正使用支援活動の評価．第 68 回日本化学療法学会総会，2020 年（令和 2 年）9 月 13 日，神戸．

*下線は感染管理部員氏名。